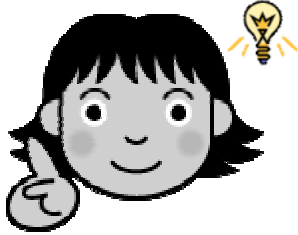


## 思考を促し、見取り、生かす教師の働きかけの充実

### ○ 子どもが自分の考えをもつときって？



(1) 課題の意味や発問の意図が分かったとき

(2) 考える視点や方法が分かっているとき

(3) 考えるための手がかりがあるとき

(4) 考える時間があるとき（間）

### ○ 思考を促す発問って？

#### 子どもの考えを揺さぶる

これまでの既習内容や経験に反することを投げかける。  
「～だったよね。でも、～なのは どうしてだろう。」

#### 考えを照らし合わせる

子ども相互の考えを予想したり、再生したりさせる。  
「Aさんの言葉の続きを言えるかな。」  
「Bさんの考えていること分かりますか。」

#### 分類や比較をさせる

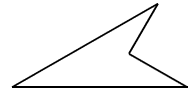
調べたことや友達の考え等の間にある相違点や共通点を見つけ出させる。  
「AさんとBさんの考えのどこか。」

#### 関連付けさせる

分かった事柄の間に、どのような関係があるのかを考えさせる。  
「分かったことをつなげると、どんなことが言えるのかな。」

#### 葛藤を生む

これまでの学習から、どちらか判断に迷うことを問う。  
「これは、三角形と四角形のどっちですか。」



#### 矛盾・対立を生む

考えの共通点や相違点を整理したり、根拠や微妙な違いを問い返したりする。  
「みんなは同じって言ったけど、～というところが違うんじゃないかな。」

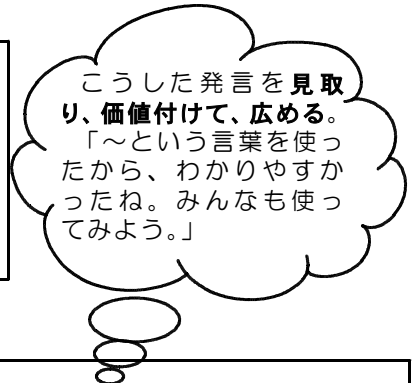
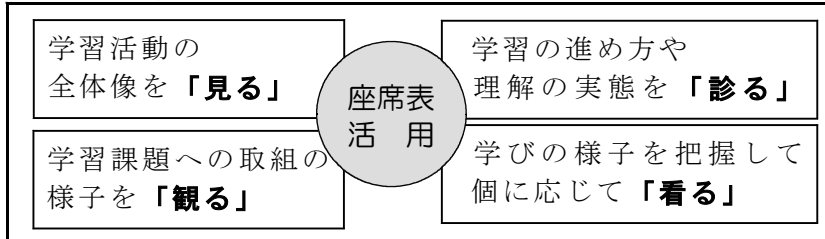


#### 多面的に見させる

新たな視点でアプローチする方法を示し、子どもによる解決を促す。  
「もし、～だったらどうなるだろうか。」

### ○ どうやって見取るの？

#### 〈机間指導から見取る〉



#### 〈子どもの発言から見取る〉

子どもの言葉から見える思考力	・「〇〇が～したのは、～だからなんだ」	理由付け
	・「〇〇と□□を比べると、～が違う」	比較、相違
	・「〇〇と△△には、～というきまりがある」	規則性
	・「～ということから～ということが言える」	類推 など

#### 〈ノートやワークシートから見取る〉

- ・ 自分の考えを書いた部分から子どもの思考過程を確実に見取り、授業展開に生かす。
- ・ よい点を称賛したり、励ましのコメントを入れたりしながら意欲を高める。
- ・ 授業後に自分の指導を振り返ったり、次時の指導に生かしたりする。  
(ノート指導はP. 13を参照)

